

SDシリーズのリモートコントロール端子について

2017年6月発行
株式会社 電菱

1：はじめに

SPシリーズは遠隔で本体電源のON/OFF操作ができるリモートコントロール端子を搭載しています。本書では本機能について説明します。

2：リモートコントロール端子が搭載されている機種と位置

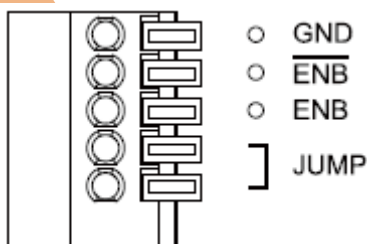
SD2500/SD3500



3：リモートコントロール端子の役割

SDシリーズの電源をONにしていると、負荷を使用していなくても自己消費電力がかかるため、バッテリー電力を消費します。リモートコントロール端子を使用して本体の電源をOFFにした場合、待機中の消費電力がほぼ0となり、バッテリー消費を低減させます。手動スイッチだけではなく、外部信号により操作ができるため、装置への組み込みにも適します。

4：リモートコントロール端子の詳細



PIN 番号	PIN 割当
1	GND
2	-ENB
3	ENB
4	並列ジャンパー
5	並列ジャンパー

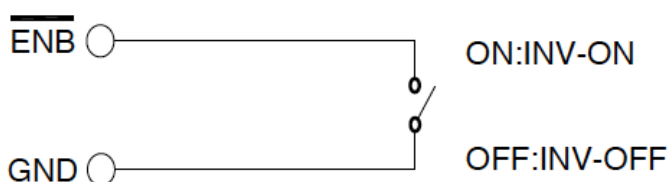
リモートコントロールには1, 2, 3番の端子を使用します。4, 5番は並列ジャンパーです。

5：リモートモードの設定方法

5-1. インバータメインスイッチをリモート(Ⅱ)に設定してください。

5-2. 下記の制御方法よりシステムに最適なものを選択の上、0.2~0.5 mm²のより線を使用し配線してください。

5-2-1. リレースイッチを使用したリモート操作

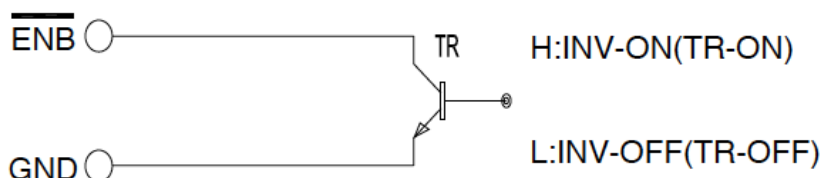


GND (1番)と $\overline{\text{ENB}}$ (2番)を配線します。

GND (1番)と $\overline{\text{ENB}}$ (2番)が短絡するとインバータの電源がONになります。

GND (1番)と $\overline{\text{ENB}}$ (2番)が開放されるとインバータの電源がOFFになります。

5-2-2. トランジスタを使用したリモート操作

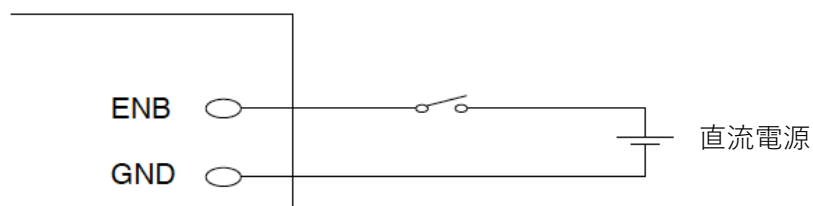


GND (1番)と $\overline{\text{ENB}}$ (2番)を配線し、間にトランジスタを入れます。

GND (1番)と $\overline{\text{ENB}}$ (2番)が短絡するとインバータの電源がONになります。

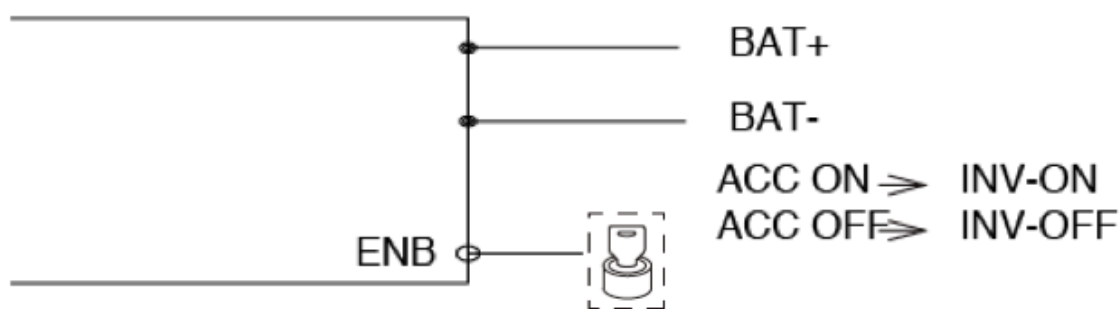
GND (1番)と $\overline{\text{ENB}}$ (2番)が開放されるとインバータの電源がOFFになります。

5-2-3. 外部直流電源を使用したリモート操作



GND (1 番) と ENB (3 番) を配線し、間に電源を入れます。
 端子に直流電圧が印加されるとインバータの電源が ON になります。
 端子に開放になるとインバータの電源が OFF になります。

4-2-4. ACC 電源を使用したリモート操作



ACC 系統配線の+側と ENB (3 番) を配線します。
 ACC 電源が ON になるとインバータの電源が ON になります。